

がん化学療法レジメン登録申請書

診療科	脳神経外科	医師名	
PHS		E-MAIL	
がん種	頭蓋内胚細胞腫		
レジメン名	(EE)ICE		
臨床試験			

根拠となった論文、資料(タイトル、著者名、雑誌名 等)

Combination chemotherapy and radiation therapy for CNS germ cell tumors - the Japanese experience

研究デザイン

A	5 症例報告	B	3 Retrospective	C	1 1st Line
臨床試験名					
臨床試験グループ					
研究対象となる症例		頭蓋内胚細胞腫 (予後不良群)			
研究対象となる治療方法		ifosmide-cisplatin-etoposide combination chemotherapy			
プライマリーエンドポイント					
セカンダリーエンドポイント		response			
結果	4/9でdisease progression				
結論	予後不良群への治療は困難				

推奨度

エビデンスレベル	IV	勧告のグレード	A'	グレード	標準
----------	----	---------	----	------	----

保険適応の無い薬剤

薬剤	備考
カルボプラチン	小児の胚細胞腫には適応がある

投与スケジュール

投与期間(①)	5日	休薬期間(②)	23日
1コースの期間(①+②)	4週間		
投与回数コース	3コース		

☒

	1	2	3	4	5		(日)
--	---	---	---	---	---	--	-----

カルボプラチン ■

エトポシド ■ ■ ■ ■ ■

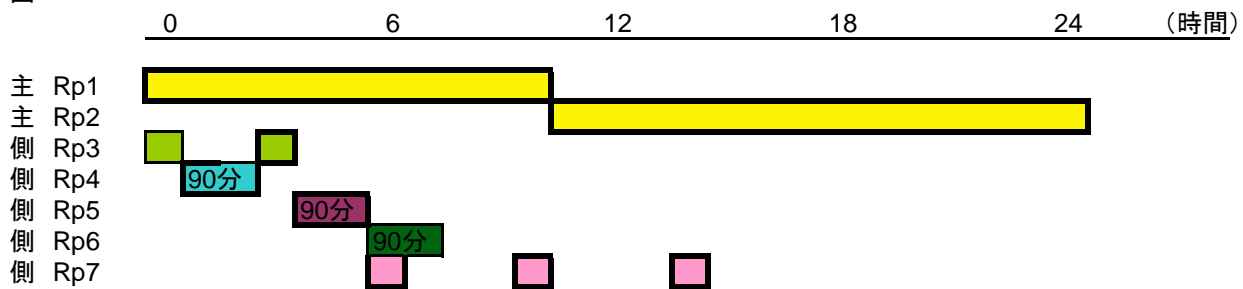
イホマイド ■ ■ ■ ■ ■

エトポシドはDEHPフリーの点滴ルート使用

処方内容

Rp	薬剤	投与量	投与方法	投与時間(投与速度)	投与日
1	5%ブドウ糖	250mL	点滴	ルート確保、持続	1-5
2	ソルデム3A	500mL	点滴	維持輸液	1-5
3	ナゼア	0.3mg	点滴	30分	1-5
	生理食塩水	100mL			
4	カルボプラチン	450mg/m ²	点滴	90分	1
	5%ブドウ糖	250mL			
5	エトポシド	60mg/m ²	点滴	90分	1-5
	5%ブドウ糖	250mL			
6	イホマイド	900mg/m ²	点滴	90分	1-5
	5%ブドウ糖	250mL			
7	ウロミテキサン	400mg	点滴	30分	1-5
	生理食塩水	100mL			

図



ウロミテキサンはIFM投与直後、4時間後、8時間後に投与する。

副作用情報(頻度、対処法)

項目		頻度(G3以上)	対処方法(減量・中止含む)
血液 毒性	好中球減少	29.4%	G-SCF製剤(5-10日目に最低)
	血小板減少		輸血
	発熱性好中球減少症		
消化器 症状	悪心		5HT3拮抗薬
	嘔吐		5HT3拮抗薬
	下痢		

根拠となる論文あるいは資料以外に参考にした文献・資料

--

備考

論文ではcisplatin 20mg/m ² day1-5だが、これをcarboplatin 450mg/m ² day1 で施行している。
--

申請書受理	小グループ審査	審査委員会
2008/10/25(宮本康敬)	2009/01/14(竹下明裕)	
		carboplatinとの併用論文の添付、使用量のなるべく等しい論文や報告(レジメの記載された特集号などでもかまいません)はありませんでしょうか？

病院端末			薬剤部門システム	
登録	確認		登録	確認